

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成26年1月14日
【四半期会計期間】	第32期第2四半期(自平成25年9月1日至平成25年11月30日)
【会社名】	株式会社ウッドフレンズ
【英訳名】	WOOD FRIENDS Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 前田和彦
【本店の所在の場所】	名古屋市中区栄四丁目5番3号
【電話番号】	052(249)3503
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 伊藤嘉浩
【最寄りの連絡場所】	名古屋市中区栄四丁目5番3号
【電話番号】	052(249)3504
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 伊藤嘉浩
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第31期 第2四半期連結 累計期間	第32期 第2四半期連結 累計期間	第31期
会計期間	自 平成24年 6月1日 至 平成24年11月30日	自 平成25年 6月1日 至 平成25年11月30日	自 平成24年 6月1日 至 平成25年 5月31日
売上高 (千円)	12,654,312	14,502,792	27,939,747
経常利益 (千円)	188,274	410,329	698,594
四半期(当期)純利益 (千円)	56,672	222,017	342,315
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	80,572	246,394	385,497
純資産額 (千円)	4,483,102	4,991,050	4,818,015
総資産額 (千円)	22,508,016	25,078,635	23,527,025
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	3,894.46	15,132.04	23,507.46
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	19.5	19.4	20.0
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,373,209	2,185,367	313,239
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	49,944	284,959	150,335
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	2,083,906	1,411,054	1,775,870
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	2,576,585	2,168,856	3,228,129

回次	第31期 第2四半期連結 会計期間	第32期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成24年 9月1日 至 平成24年11月30日	自 平成25年 9月1日 至 平成25年11月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	8,559.96	11,590.09

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含んでおりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容において、重要な変更はありません。なお、当社は平成25年8月31日付で100%連結子会社である株式会社住空間研究所を吸収合併いたしました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における東海地域の経済は、円安の好影響を受け、企業収益や個人消費が徐々に改善されつつあり、景気回復が進んできたと認識しております。

不動産業界においては、名古屋圏において地価上昇の兆しが見られるとともに、新設住宅着工戸数についても、消費増税前の一部の駆け込み需要が顕在化し、堅調に推移しました。

このような状況下、当グループの主力事業である住宅事業では、安定的な販売を継続してまいりました。また、集材製造を行っている岐阜工場は収益が改善し、通期での損益分岐越えを予定しております。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

住宅事業

エリアマーケティングを重視した販売活動により、業績は概ね計画どおり進捗しました。売上高は12,551百万円(前年同期比9.0%増)、セグメント利益は643百万円(前年同期比71.8%増)となりました。

AM(アセットマネジメント)事業

ゴルフ場並びに公共施設の運営管理及び施設管理を行っており、業績は概ね計画どおり進捗しました。売上高は846百万円(前年同期比3.8%増)、セグメント利益は161百万円(前年同期比10.9%減)となりました。

その他の事業

収益型不動産の運営及び生活関連サービスの提供等を行っております。首都圏で宅地開発販売を行ったことにより、売上高は1,155百万円(前年同期比234.6%増)、セグメント利益は14百万円(前年同期は21百万円の損失)となりました。

以上の結果により、当第2四半期連結累計期間の売上高は14,502百万円(前年同期比14.6%増)、営業利益は559百万円(前年同期比74.2%増)、経常利益は410百万円(前年同期比117.9%増)、四半期純利益は222百万円(前年同期比291.8%増)となりました。

なお、当社は、当社が建築した一部の準耐火建築物(木造3階建の一部)について、国土交通大臣認定仕様とは異なる施工方法のものがあることが判明したため、本件について平成25年11月に公表しました。現在、調査と査定および改修計画の作成を進めております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が410百万円(前年同期比142.8%増)となりましたが、たな卸資産の増加による支出が2,408百万円(前年同期比40.3%増)であったことを主な要因として2,185百万円の支出(前年同期比59.1%増)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有形固定資産の取得等により、284百万円の支出(前年同期比470.5%増)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入れによる収入が借入金の返済による支出を上回ったこと等により、1,411百万円の収入(前年同期比32.3%減)となりました。

以上の結果により、現金及び現金同等物は1,059百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は2,168百万円(前年同期比15.8%減)となりました。

(3) 財政状態の分析

資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の取得を主な要因として前連結会計年度と比較し1,551百万円増加し、25,078百万円となりました。

負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、たな卸資産の取得に伴う借入金の増加を主な要因として前連結会計年度と比較して1,378百万円増加し、20,087百万円となりました。

純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、利益剰余金の増加を主な要因として、前連結会計年度と比較し173百万円増加し、4,991百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000
計	48,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年1月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	14,800	14,800	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	当社は単元株制度は採用していません。
計	14,800	14,800	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月1日～ 平成25年11月30日	-	14,800	-	279,125	-	279,908

(6)【大株主の状況】

平成25年11月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
ベストフレンズ有限会社	愛知県春日井市月見町60 - 2	6,162	41.63
東邦レオ株式会社	大阪市中央区上町1 - 1 - 28	1,200	8.10
前田 和彦	愛知県春日井市	442	2.98
前田 扶美子	愛知県春日井市	442	2.98
橘 俊夫	堺市南区	441	2.97
松岡 明	愛知県一宮市	440	2.97
柴田 芳	名古屋市中区	400	2.70
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区丸の内1 - 3 - 3	360	2.43
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2 - 7 - 1	240	1.62
株式会社りそな銀行	大阪市中央区備後町2 - 2 - 1	240	1.62
株式会社十六銀行	岐阜県岐阜市神田町8 - 26	240	1.62
計	-	10,607	71.66

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 128		
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,672	14,672	
単元未満株式			
発行済株式総数	14,800		
総株主の議決権		14,672	

【自己株式等】

平成25年11月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株式 の割合(%)
株式会社ウッドフレンズ	名古屋市中区栄4 - 5 - 3	128	-	128	0.86
計	-	128	-	128	0.86

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役	エンジニアリング本部長 兼建築資材事業本部長	取締役	エンジニアリング担当	松浦 和雄	平成25年10月1日
取締役	不動産開発本部長兼開発 本部長兼東京事業本部長	取締役	不動産開発本部長	笹原 利明	平成25年10月1日

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づき、同規則及び「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)により作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年9月1日から平成25年11月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年6月1日から平成25年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,228,129	2,183,634
完成工事未収入金	14,772	18,478
売掛金	294,654	454,384
販売用不動産	5,172,270	6,319,399
仕掛販売用不動産	8,444,232	9,346,380
未成工事支出金	2,062,083	1,910,888
仕掛品	112,476	150,273
原材料	155,581	576,624
商品及び製品	9,585	61,353
その他	526,343	575,356
流動資産合計	20,020,128	21,596,773
固定資産		
有形固定資産	2,910,922	2,869,635
無形固定資産	165,468	175,301
投資その他の資産	430,505	436,924
固定資産合計	3,506,897	3,481,862
資産合計	23,527,025	25,078,635
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,670,582	1,645,960
買掛金	369,103	556,845
1年内償還予定の社債	241,800	208,400
短期借入金	9,428,120	9,739,750
1年内返済予定の長期借入金	1,119,594	2,172,194
未払法人税等	264,448	137,181
賞与引当金	-	14,487
完成工事補償引当金	67,100	70,400
その他	1,047,567	894,496
流動負債合計	14,208,316	15,439,715
固定負債		
社債	539,200	451,500
長期借入金	2,664,106	2,970,753
退職給付引当金	4,932	5,469
役員退職慰労引当金	114,000	116,748
資産除去債務	15,430	15,513
その他	1,163,024	1,087,885
固定負債合計	4,500,693	4,647,870
負債合計	18,709,010	20,087,585

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	279,908	279,908
利益剰余金	4,166,923	4,315,581
自己株式	20,879	20,879
株主資本合計	4,705,076	4,853,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	703	936
その他の包括利益累計額合計	703	936
少数株主持分	112,235	136,379
純資産合計	4,818,015	4,991,050
負債純資産合計	23,527,025	25,078,635

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
売上高	12,654,312	14,502,792
売上原価	11,063,855	12,493,023
売上総利益	1,590,457	2,009,768
販売費及び一般管理費	¹ 1,269,360	¹ 1,450,465
営業利益	321,096	559,302
営業外収益		
受取利息	102	126
受取手数料	11,667	11,261
違約金収入	2,600	-
その他	26,530	10,044
営業外収益合計	40,899	21,432
営業外費用		
支払利息	150,012	159,752
その他	23,709	10,653
営業外費用合計	173,721	170,406
経常利益	188,274	410,329
特別損失		
固定資産売却損	-	² 43
固定資産除却損	³ 11,975	³ 23
減損損失	⁴ 7,361	-
特別損失合計	19,336	66
税金等調整前四半期純利益	168,937	410,262
法人税等	88,908	164,100
少数株主損益調整前四半期純利益	80,028	246,162
少数株主利益	23,356	24,144
四半期純利益	56,672	222,017

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	80,028	246,162
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	543	232
その他の包括利益合計	543	232
四半期包括利益	80,572	246,394
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,215	222,249
少数株主に係る四半期包括利益	23,356	24,144

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	168,937	410,262
減価償却費	219,546	198,678
減損損失	7,361	-
受取利息及び受取配当金	553	593
支払利息	150,012	159,752
売上債権の増減額(は増加)	48,932	163,435
たな卸資産の増減額(は増加)	1,717,084	2,408,690
仕入債務の増減額(は減少)	75,508	168,019
その他	326,198	132,686
小計	970,020	1,768,693
利息及び配当金の受取額	553	593
利息の支払額	150,797	157,850
法人税等の支払額	252,944	259,416
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,373,209	2,185,367
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	20,681	145,915
無形固定資産の取得による支出	25,163	117,867
その他	4,099	21,176
投資活動によるキャッシュ・フロー	49,944	284,959
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	8,961,800	9,549,730
短期借入金の返済による支出	7,411,165	9,238,100
長期借入れによる収入	961,133	2,213,000
長期借入金の返済による支出	176,178	853,752
社債の償還による支出	121,100	121,100
リース債務の返済による支出	61,135	65,531
配当金の支払額	69,448	73,191
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,083,906	1,411,054
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	660,751	1,059,272
現金及び現金同等物の期首残高	1,915,833	3,228,129
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 2,576,585	¹ 2,168,856

【注記事項】

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社住空間研究所は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
販売顧客の金融機関からの借入金	828,600千円	329,203千円

2 偶発債務

当第2四半期連結会計期間(平成25年11月30日)

当社が建築した一部の準耐火建築物(木造3階建の一部)について、間仕切壁の施工方法の一部が国土交通大臣認定の内容に適合していない、もしくは不適合施工の可能性があること、並びに天井と壁の取合い部分の施工が告示に適合していない、もしくは不適合施工の可能性があることが判明し、平成25年11月26日に公表しました。

当該事象により、点検および改修等費用が発生しますが、現時点では金額を合理的に見積もることが困難であるため費用計上しておりません。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
給料手当	348,676千円	403,570千円
賞与引当金繰入額	10,581	12,285
広告宣伝費	147,073	161,717
販売手数料	160,381	147,918
完成工事補償引当金繰入額	27,292	51,295

2 固定資産売却損の内訳

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
車両運搬具	-千円	43千円
合計	-	43

3 固定資産除却損の内訳

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
工具器具備品	-千円	23千円
撤去費用	11,975	-
合計	11,975	23

4 減損損失

前第2四半期連結累計期間（自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日）

(1) 減損損失を認識した資産

当グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

場所	用途	種類
愛知県大府市	住宅展示場	建物

(2) 資産のグルーピング方法

内部管理上の事業区分に基づく事業の単位をキャッシュ・フローを生み出す最小の単位とし、本社等の全事業用資産を共用資産としてグルーピングを行っております。

(3) 減損損失の認識に至った経緯

住宅展示場からの退去に伴い、連結会計年度中にモデルハウスを除却予定であることから、当該資産について減損損失を認識しました。モデルハウスの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額7,361千円を減損損失として特別損失に計上しております。

(4) 減損損失の内訳

建物	7,361千円
合計	7,361千円

(5) 回収可能価額の算定方法

回収可能価額は、使用価値により算定しております。使用価値は、退去までの減価償却費相当額として算定しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日）

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
現金及び預金勘定	2,586,585千円	2,183,634千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	10,000	14,777
現金及び現金同等物	2,576,585	2,168,856

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)

1 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年8月28日 定時株主総会	普通株式	72,760	5,000	平成24年 5月31日	平成24年 8月29日	利益剰余金

2 株主資本金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)

1 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年8月27日 定時株主総会	普通株式	73,360	5,000	平成25年 5月31日	平成25年 8月28日	利益剰余金

2 株主資本金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	住宅事業 (千円)	AM事業 (千円)	その他の 事業 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)3
売上高						
外部顧客への売上高	11,514,780	816,266	323,266	12,654,312	-	12,654,312
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,832	-	22,037	24,870	24,870	-
計	11,517,613	816,266	345,303	12,679,183	24,870	12,654,312
セグメント利益 又はセグメント損失()	374,899	181,248	21,975	534,172	213,076	321,096

(注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額 213,076千円には、セグメント間取引消去26,049千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 239,126千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	住宅事業 (千円)	AM事業 (千円)	その他の 事業 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)3
売上高						
外部顧客への売上高	12,548,669	846,944	1,107,177	14,502,792	-	14,502,792
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,467	-	48,073	50,540	50,540	-
計	12,551,137	846,944	1,155,250	14,553,332	50,540	14,502,792
セグメント利益	643,965	161,492	14,968	820,427	261,124	559,302

(注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額 261,124千円には、セグメント間取引消去19,269千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 280,393千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	3,894円46銭	15,132円04銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	56,672	222,017
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	56,672	222,017
普通株式の期中平均株式数(株)	14,552	14,672

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年1月14日

株式会社ウッドフレンズ

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 宮本 正 司

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 楠 元 宏

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ウッドフレンズの平成25年6月1日から平成26年5月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年9月1日から平成25年11月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年6月1日から平成25年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ウッドフレンズ及び連結子会社の平成25年11月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。